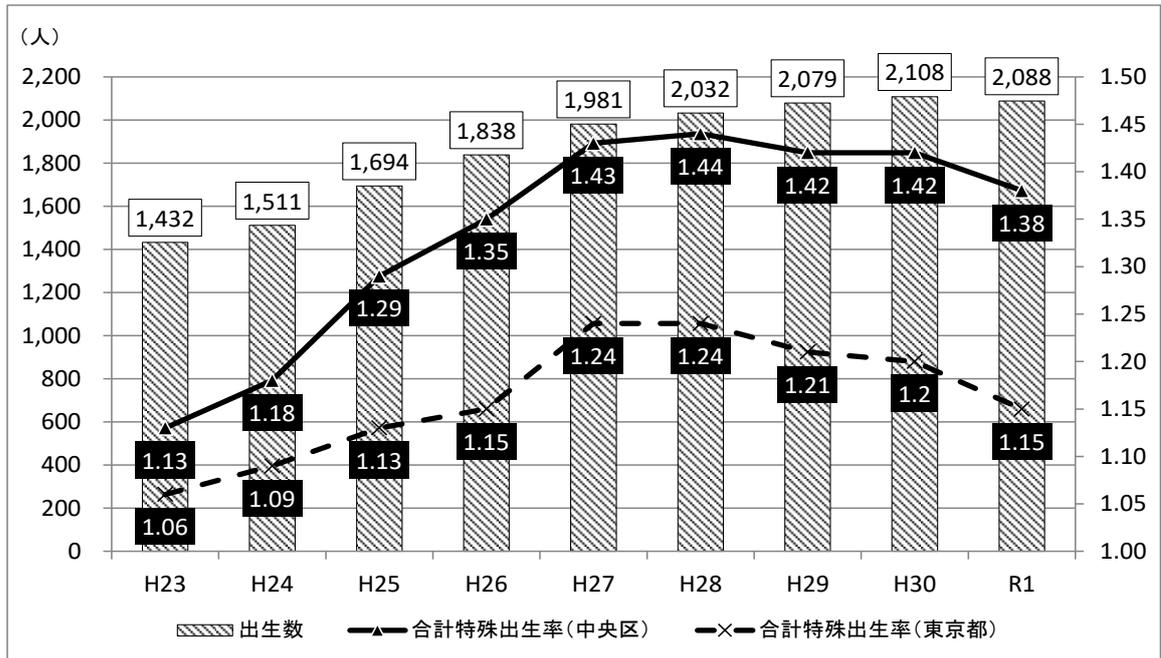


中央区の現状について

1 出生数と合計特殊出生率の推移

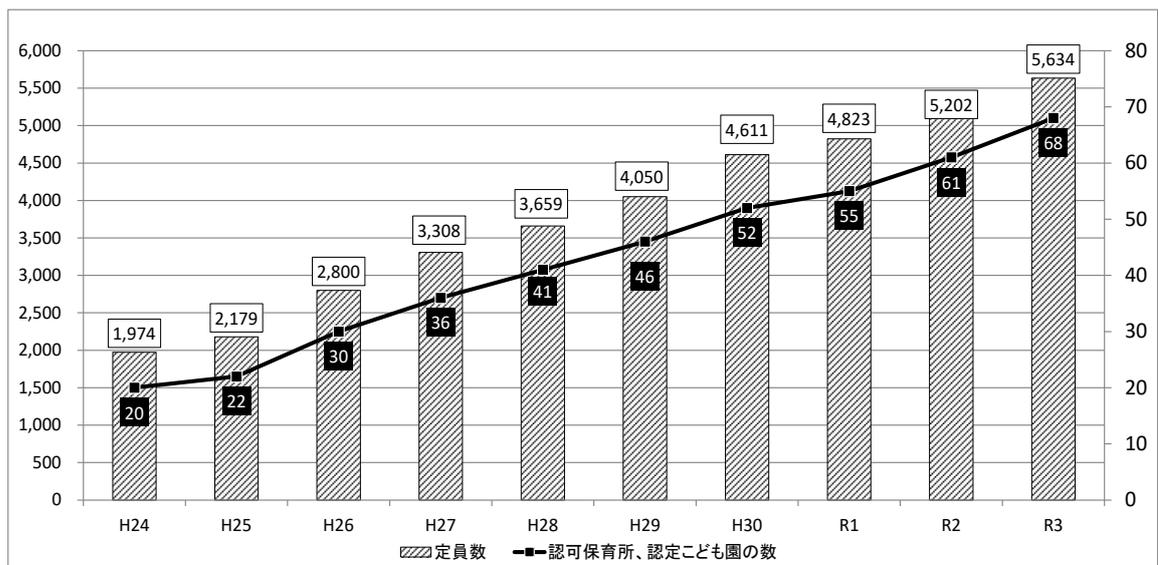


※令和元年の合計特殊出生率は概数

令和元年（1月から12月までの暦年）の出生数は平成28年から4年連続で2,000人を超え、2,088人であった。

また、本区の合計特殊出生率は、令和元年(概数)は1.38であり、毎年東京都の平均を超えている。

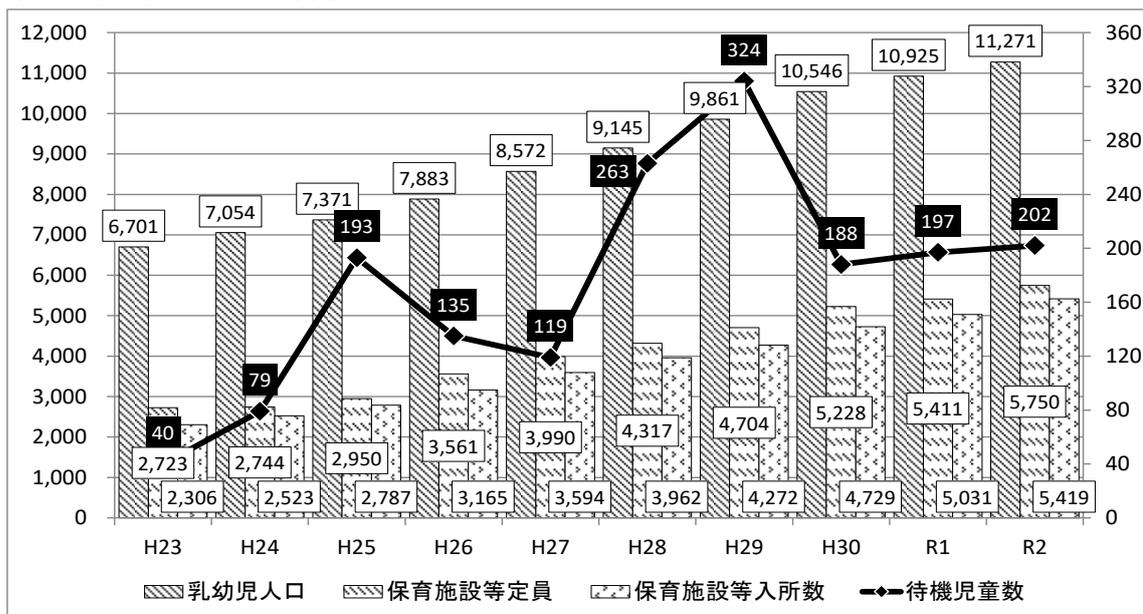
2 認可保育所、認定こども園（長時間保育）の施設数及び定員数



※各年4月1日の実績値（令和3年は予定）

本区では、認可保育所等の施設数及び定員数を毎年増やしており、認可保育所等の定員数は令和元年の4,823人から5,202人となり379人増加した。今後もさらに定員の拡大を図っていく。

3 保育施設等定員数と待機児童数

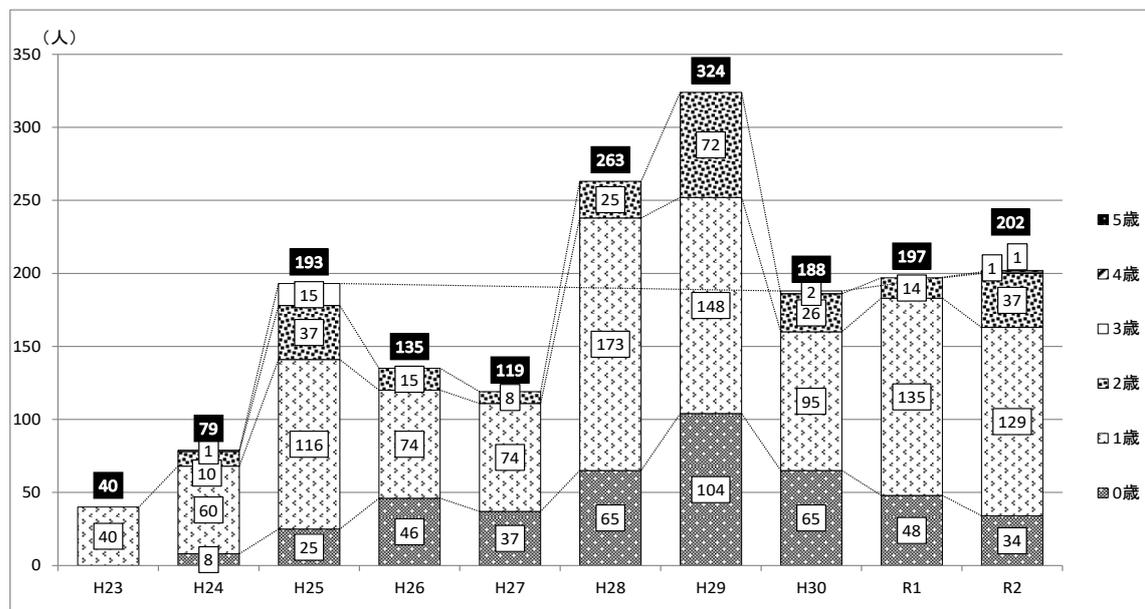


※各年4月1日の実績値

※保育施設等定員は認可保育所、認証保育所、認定こども園（長時間保育）、家庭的保育事業、小規模保育事業、事業所内保育事業の合計

令和元年の乳幼児人口は10,925人、保育施設等定員数は5,441人、保育施設等入所者数は5,031人、待機児童数は197人であった。令和2年4月においては、乳幼児人口は11,271人、保育施設等定員数は5,750人、保育施設等入所者数は5,419人と増加し、待機児童数は202人となり、対前年比で5人増加した。

4 年齢別待機児童数



※各年4月1日の実績値

年齢別では、令和2年は依然として0～2歳児で待機児童がいる状況であり、0歳児が34人、1歳児が129人、2歳児が37人、3歳児が1人、4歳児が1人で合計202人、昨年と比べ全体で5人増加した。